



:. *

:.☆: 大阪府細胞検査士会 メールジャーナル

*:. * 2025年12月号

..*:☆:。



:☆★:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*

【目次】

◆ 1 <お知らせ>

◆ 2 <会員コラム>

大阪国際がんセンター 医療技術部 臨床検査部門（病理・細胞診）

小柳 由貴

◇ 編集後記

深田 知也

:☆★:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*:☆★*

☆ ~~~~~

★ ◆ 1 <お知らせ>

☆ ~~~~~

★ 1) 第52回学術研修会のお知らせ（大阪府細胞検査士会主催）

☆ 2) 病理細胞診特別講習会のお知らせ（大臨技主催）

★ 3) 第38回大阪病理技術研究会のお知らせ（大臨技主催）

☆ 4) 第24回泌尿器細胞診カンファレンス 学術集会 in 久留米のお知らせ

★ 5) 第5回胆膵細胞診勉強会のお知らせ



1) 第 52 回学術研修会のお知らせ（大阪府細胞検査士会主催）

【日時】 2026 年 2 月 22 日（日）時間未定

【会場】 大阪国際がんセンター 大講堂

【開催方法】 現地及び WEB によるハイブリッド開催

詳細が決まり次第、[当会 HP](#) もしくは会員メールにてお知らせいたします。

2) 病理細胞診特別講習会のお知らせ（大臨技主催）

毎年好評の病理細胞新特別講習会を開催します！「泌尿器領域の細胞診と組織診」をテーマに企画しました！いつまでたっても悩ましい泌尿器領域の細胞診と組織診の知見に加え、病理診断を受けて臨床はどのように解釈し対応するか、臨床医からの目線もご講演いただく内容を企画しております！Web 講習会となりますので、職場やご自宅から受講可能です。皆様のご参加お待ちしております。

【内容】

病理細胞診特別講習会「泌尿器領域の細胞診と組織診」

講演 1：「泌尿器領域の細胞診（仮）」 関西医療大学 小椋 聖子 先生

講演 2：「泌尿器領域の組織診と臨床対応（仮）」 一宮西病院 野村 宣徳 先生

【日時】 2026 年 1 月 16 日（金）18：30 ～ 20：30（受付 18：15～）

【会場】 Web 開催（Zoom を用いたライブ配信）

【評価点】 専門教科-20 点（細胞検査士クレジット JSC 2 単位/IAC 2 単位）

【参加費】 会員 500 円 非会員 1000 円

【定員】 200 名（先着順）定員になり次第終了します。

【申込期間】 2025 年 11 月 20 日（木）0：00 ～ 2026 年 1 月 16 日（金）18：15

【申込方法】 [申込ページはこちら](#)

3) 第 38 回大阪病理技術研究会のお知らせ（大臨技主催）

今年度最後の事業として、第 38 回大阪病理技術研究会を開催します！今年はますます需要が高まる「病理部門の遺伝子検査」に焦点をあて、多くの講師の先生に多角面からご講演いただきます。業務内においても他部門がかかわる領域だけに、本研究会の内容は皆さんの知識・能力を一層高めること間違いありません！認定病理検査技師の単位も申請中です。皆様のご参加をお待ちしております。席に限りがありますので、お申し込みはお早めに！！

【内容】

講演 1. 各病院における遺伝子検査についての調査結果（仮） 市立豊中病院 大仲 知

子 先生

講演 2. コンパニオン検査の試薬開発 安必平 (LBP SYSTEM) 朱 俊軒 先生

講演 3. がん遺伝子パネル検査における二次的所見の対応 大阪大学医学部附属病院 源 幸 奈々 先生

講演 4. あなたの仕事が、がん薬物治療に活かされています 株式会社ケーエスケー 勝木 真由美 先生

講演 5. 造血器腫瘍遺伝子パネル検査からみる病理検査の役割 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 郡司 昌治 先生

【日時】 2026年2月1日(日) 13:00 ~ 17:00 (受付 12:30 ~)

【会場】 住友病院 14階講堂

【評価点】 専門教科-20点 (認定病理検査技師単位 申請中)

【参加費】 会員 1000円(日臨技生涯教育推進研修会のため、日臨技会員のみも会員扱いです)

非会員 2000円

【定員】 80名(先着順) 定員になり次第終了します。

【申込期間】 2025年12月20日(土) 0:00 ~ 2026年2月1日(日) 12:15

【申込方法】 [申込ページはこちら](#)

4) 第24回泌尿器細胞診カンファレンス 学術集会 in 久留米のお知らせ

【テーマ】 一歩前へ - 踏み込んだ理解と協調 -

【日時】 2026年2月7日(土) 13:00~17:00 / 8日(日) 8:30~12:30

【開催形式】 ハイブリッド開催(現地:新古賀病院 記念講堂 + オンライン)

詳細は[こちら](#)から

5) 第5回胆膵細胞診勉強会のお知らせ

【内容】

(開会)

久留米大学病院 臨床検査部: 内藤 嘉紀 先生

(ショートレクチャ)

座長: 東海大学医学部附属八王子病院 病理診断科 田尻 琢磨 先生

タイトル: 肝外胆管癌病理の基礎

演者: 久留米大学医学部病理学講座 中山 正道 先生

(症例①)

座長: 富山大学学術研究部医学系 病理診断学講座 平林 健一 先生

演者: 金沢大学附属病院 病理診断科 水口 敬司 先生

(症例②)

座長: 東海大学医学部附属八王子病院 病理診断科 杉山 朋子 先生

演者: 久留米大学病院 病理診断科・病理部 河原 明彦 先生

【日時】 2026年2月24日(火) 18:00-

【開催形式】 WEB 開催

【定員】 先着 100 名

Zoom 接続情報: <https://zoom.us/j/95829210488?pwd=io13R...>

ミーティング ID: 958 2921 0488 / パスコード: 722706

【お問い合わせ】 事前質問等がある場合は、以下の宛先までメールにてご連絡ください。

担当: 久留米大学 河原 明彦 先生

メール: akihiko4@med.kurume-u.ac.jp

★ ~~~~~

☆ ◆ 2 <会員コラム>

★ 「年末年始のささやかな楽しみ」

☆ ~~~~~

★ 大阪国際がんセンター 医療技術部 臨床検査部門 (病理・細胞診)

小柳 由貴

秋の細胞学会が無事終わりひと段落ついたのも束の間、時は師走、師も走る年末のバタバタシーズンの到来です。年末の予約患者殺到からの大量の検体提出や問合せの嵐に今から戦々恐々としていますが、仕事納めをしたら今年の年末は昨年と同様最大 9 連休と長く、帰省してゆっくり年越しされる方も多いのではないのでしょうか？

年末年始といえば私が毎年楽しみにしているのがお雑煮です。この時期になるとテレビの特集などでもお雑煮に入れる餅が丸餅か角餅か、汁はすましか味噌かなど、各地方の様々なお雑煮が紹介されているのをよく見ますが、皆さんの思い浮かべるお雑煮はどんなお雑煮でしょうか？私は長崎の諫早市出身ですが、母が雲仙普賢岳で有名な島原半島出身なので、島原半島の郷土料理でもある具雑煮を毎年食べていました。具雑煮の起源は、江戸時代初期の島原の乱で、総大将の天草四郎が三万七千人のキリスト教信徒たちと籠城した際に、兵糧の餅と山の幸、海の幸を合わせて煮て食し、長期戦の体力と気力を養ったのがはじまりだといわれています。具雑煮というだけあって具沢山で、具材は各家庭でも異なりますが、我が家では大根、人参、干し椎茸、かつお菜、牛蒡、かしわ、かまぼこが入ってしまし

た。餅は丸餅で、ベースは昆布とカツオでとった合わせ出汁と干し椎茸の戻し汁を使ったすまし汁で、あご出汁を使うときもありました。それぞれの具材からもうまみが染み出ているので、滋味深い味わいがなんとも筆舌に尽くしがたい美味しさです。島原では名物化しており、季節問わず提供されているお店もあるので、長崎にお越しの際は是非ご賞味ください。

今年も残すところあとわずか。皆様どうぞよい年をお迎えください。

◇◇ 編集後記 ◇◇

深田知也

早いものであと 10 日程で今年も終わりますね。私の出身地である北海道釧路市のお雑煮は、根菜と豚肉や鶏肉で出汁をとる味噌仕立てが特徴的です。煮込む具材が豊富で、寒い地域の家庭の味が反映されています。餅は焼かない角餅を入れることが多いです。

今年も大阪府細胞検査士会にご協力ありがとうございました。来年度も会員の皆様が役に立つようなメールジャーナルとなるように心がけて配信いたしますので引き続きよろしく願いいたします。それでは良いお年をお迎えください。

2025 年 12 月 20 日

※メールジャーナル登録アドレスの変更や問い合わせ等につきましては、下記メールアドレスへご連絡ください。

osakactshomubu@gmail.com

※メールジャーナル関係以外の問い合わせにつきましては、大阪府細胞検査士会事務局あて下記メールアドレスへご連絡ください。

osaka-kensashi@osakacity-hp.or.jp